

一関地区家庭教育セミナー

■日時 平成29年11月11日(土) 13:30~15:20
 ■会場 一関文化センター
 ■講師 佐久間レイ氏(声優、歌手、脚本家)
 佐田詠夢氏(ピアノ演奏)
 ■参加者 352名

今年度2回目の家庭教育セミナーは、一関地区(一関市)で開催されました。当日、会場の外では一関市の事業「もちサミット」が行われ、駐車場探しに苦労をおかけしましたが、セミナーの会場には、保護者だけでなく、祖父母の方々や子ども達の姿も見られるなど、たくさんの方々に参加をしていただきました。講演は、歌や演技などを交えたお話で、多くの参加者の感動した様子が見られました。

セミナーに参加して

気仙地区母親委員

大久保千鶴

佐久間レイさんのお話、佐田詠夢さんの柔らかく瑞々しいピアノの音は、心の琴線に触れるものでした。普段から善い人でありたい、出来る人でなければ…と気を張り、負や悪の感情を押し込めて生きている気がしますが、それすらも解き放ち、そう感じる自分を許し認めてあげることの大切さを学びました。朗読劇では涙が止まらず、ただ素直



に我が子が元気でいてくれることに感謝、私を産み育ててくれた両親に感謝の気持ちで一杯になりました。震災の時に、自然と頭に浮かんで



て私を奮い立たせてくれた「アンパンマン」の歌が聞けたことにも感激しました。「アンパンマン」の歌に奥深さを感じました。

最後には、あるがままの自分を認めて生きていこうと思えるような、心がスーッと軽くなるような本当に素晴らしい講演会でした。『心のストレッチ』忙しい毎日の中でも意識して生きていきたいと思えます。

家庭教育セミナーを終えて

一関地方PTA連合会

事務局長 澤田 祐子

声優、脚本家の佐久間レイさんを迎え家庭教育セミナーを開催しました。佐久間さん



が声を演じているキャラクターに困らな話と朗読劇、佐田詠夢さんの伴奏による歌、会場の参加者全員での手遊び。

佐久間さんのお話に笑い、「性格が悪いのではなく、生活が悪いのだ。」という話にうなずき、朗読劇では子育てを振り返って涙し、最後の手遊びでは大笑いし…と、お話で感じた喜怒哀楽と心和む音楽に、演題にある「子育てをしながら今を楽しむこと」を改



アンケート集計結果からの感想 (一部抜粋)

- ・今を大切に、子ども一人ひとりを大切にすること、そして自分が変わることを学んだ。
- ・子どもの姿を見つめ、子どもの接し方や子育ての大切さについて考えさせられた。
- ・泣いて笑って感動した。心がリセットされ、とても素晴らしい講演会だった。
- ・母親目線のお話で、心のストレッチができ、とてもいい時間を過ごせた。
- ・温かい気持ちになり大変良い講演だった。もっと多くの人に参加してもらいたかった。
- ・子どもも楽しめた。とても素晴らしいお話、ピアノ演奏で元気をもらったし、良かった。

めて思い、「心のストレッチ」ができました。県母親委員や県事務局のご助言やご協力、参加者の「良かったよ。」の一言により、一関地方母親委員一同、実り多いセミナーとなったことを感じました。皆様へ感謝いたします。